

策の一環として、「高齢者をインフルエンザから守りましょう」という考えがありました。

ます。さらには医療施設や高齢者施設などにおける施設内感染を防ぐためのワクチン、わが国にない感染症に海外で感

に分けられ、それまでの定期接種で行われていたものは1類疾病（現在のA類）に、そして2類疾病（現在のB類）として高齢者を対象としたインフルエンザが規定され、わが国において初めて成人（高齢者）を予防接種施策の対象としたのです。この背景には、社会問題となるようなインフルエンザの流行と高齢者施設での集団感染および死亡者が顕在化したこと、そして高齢者に対する福祉政

改正されましたが、(1)予防接種を義務から努力義務化(受けなければならぬという表現から受けるようにつとめなければならないという表現)へ(2)集団接種から個別接種へ(3)予防接種による健康被害に対する救済制度の充実、などがなされるようになりました。

2001年の改正では、定

肺炎予防対策として、高齢者用の肺炎球菌ワクチンをB類定期接種として導入しました。さらに2016年には、任意接種ではありますが、水痘ワクチンが帯状疱疹予防として50歳以上の方に接種できるようになりました。

現在の高齢化社会において、元気な高齢者として健康を維持していくため、この感染症

種類	感染症の分類	ワクチン名	予防できる感染症
定期接種	集団予防を目的とする感染症 (A類疾病)	Hib(ヒブ)ワクチン	Hib(ヒブ)感染症
		小児肺炎球菌ワクチン	小児の肺炎球菌感染症
		B型肝炎ワクチン	B型肝炎
		4種混合ワクチン	ジフテリア、百日咳、破傷風、ポリオ
		BCG	結核
		MR(麻しん風しん混合)ワクチン	麻しん、風しん
		水痘(みずぼうそう)ワクチン	水痘(みずぼうそう)
		日本脳炎ワクチン	日本脳炎
		HPV(ヒトパピローマウイルス)ワクチン	HPV感染症(子宮頸がん)
	個人予防を目的とする感染症 (B類疾病)	インフルエンザワクチン	インフルエンザ
		高齢者用肺炎球菌ワクチン	成人の肺炎球菌感染症
任意接種		ロタウイルスワクチン	ロタウイルスによる感染性胃腸炎
		おたふくかぜワクチン	おたふくかぜ
		インフルエンザワクチン	インフルエンザ
		A型肝炎ワクチン	A型肝炎
		髄膜炎菌ワクチン	髄膜炎菌感染症
		不活化ポリオワクチン	ポリオ



せきばクリニック 院長 関場 慶博 ☎038-3802  
青森県南津軽郡藤崎町藤崎字武元5-5

①予防接種は子どもたちを  
病気から守るために始まつた  
…これは間違いない！

②予防接種は子どもだけではなく大人へもと拡げられた  
予防接種法制定時には、社会防衛という観点から予防接種は国民の義務でした。予防接種の会場を設定しての集団接種、接種を受けない違反者には罰則を課するという強制接種でした。

ワクチンと聞きますと、「それは子どもたちが受けるもので、大人は関係ない」と思つていらっしゃる方が多いのではないかでしょうか。確かにワクチンは乳幼児期に接種するものが多く、母子手帳の予防接種の欄に記録が残されますので、「ワクチンは子どもたちが受けるもの」とのイメージが強いのだと思います。

**However (しかしながら) !**

今回は「ワクチンは大人のためにもある」「大人が受けた方が良いワクチン」のお話をさせ

我が国の予防接種の歴史を見  
てみましょう。国が公衆衛生対  
策として行なつてている予防接  
種は、1948年に予防接種法とし  
て始まっています。その後、ワクチンの進  
歩、疾病構造や社会情勢の変  
化、ワクチンによる副反応の発  
生状況などによつて、予防接種  
の対象疾病、使用するワクチン  
の種類、接種の実際の方法な  
どが見直され、予防接種法の  
改正が行われてきました。そし  
て一貫してその対象は子どもで  
いました。